

第67回

奈良大文字送り火

古都の夏の

夜空に灯す送り火に

平和の祈りを込めて

令和8年

8月15日(土)

19:00~

神仏合同慰霊祭
(春日大社境内 飛火野)

20:00

点火(高円山)

作品：奈良県立高円芸術高等学校美術科 増田 光希

[主催] 奈良大文字保存会 (奈良市観光協会内) ☎ 0742-30-0230

奈良大文字送り火

由来

夏の奈良の夜を彩る伝統行事「奈良大文字送り火」は、毎年8月15日に行われています。

奈良大文字送り火は、戦争で亡くなった方々の魂を慰めるため昭和35年に始まり、今では亡くなられたすべての人々の慰霊と平和を祈る行事となり、古都奈良の風物詩としても親しまれています。高円山への「大」の字の点火に先立ち、春日大社境内の飛火野では、春日大社の神職と県下の寺院の僧侶による神仏合同慰霊祭が執り行われます。これは、全国的にも大変珍しい形で、宗教の枠を超えて亡くなった方々の慰霊と平和を願い、祈られるものです。

高円山に浮かぶ送り火は、奈良公園や平城宮跡など、奈良市内各所から見ることができません。

協賛受付

ご協賛は奈良大文字送り火行事の保存・継承のために役立てられます。

大文字うちわ

東大寺 狭川普文長老・大安寺 河野良文貫主・西大寺 松村隆誉長老がお書きになった「大」の字のうちわです。下記の案内所や、行事当日は慰霊祭会場の飛火野でも大文字うちわ協賛の受付をしています。

協賛 ・奈良市総合観光案内所 (JR奈良駅前)
受付場所 ・近鉄奈良駅観光案内所



大文字うちわ
1本 1,500円

参列席

行事当日、会場内(飛火野)にて慰霊祭に一般の方々も座ってご参列いただけるお席の受付をいたします。

参列席 1席 2,000円
(奈良大文字送り火散華1枚付き)



神仏合同慰霊祭(イメージ) 於：飛火野
撮影：野本 暉房

奈良公園周辺地図



8月15日は、奈良公園周辺で複数の行事があり、中心部の道路は大変な混雑が予想されます。周辺に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

「奈良大文字送り火」は、多くの企業・団体・個人の皆様のご協力・ご協賛によって保存・継承されております。